

環境省と都道府県のレッドリスト対応表

【環境省のレッドリストカテゴリー】

略称	
EX	絶滅
EW	野生絶滅
CR+EN	絶滅危惧 I 類
CR	絶滅危惧 I A 類
EN	絶滅危惧 I B 類
VU	絶滅危惧 II 類
NT	準絶滅危惧
DD	情報不足
LP	絶滅のおそれのある地域個体群

【都道府県カテゴリーのうち、環境省レッドリストで使用していない略称】

都道府県	略称	環境省カテゴリー	概念
北海道	N		留意種
青森、岩手、兵庫	B	VU に対応	重要希少野生生物
青森、岩手、兵庫	C	NT に対応	希少野生生物
青森	D	DD に対応	要調査野生生物
岩手	D		C ランクに準ずる種・優れた自然環境の指標となる種、岩手県を南限または北限とする種
秋田	CM		継続観測種：秋田県第 2 種特定鳥獣管理計画に基づき、個体数管理や狩猟・有害駆除等による積極的な捕獲の推進及びモニタリング調査などにより、継続的に生息動向を把握し、適正に管理していく必要がある種
栃木	C	NT に対応*	存続基盤が脆弱な種
栃木	要注目		保護上留意すべき生物、または特徴ある生息・生育環境等により注目すべき生物
千葉	B	EN に対応*	重要保護生物
千葉	C	VU に対応*	要保護生物
千葉	D	NT に対応*	一般保護生物

東京	留意		次の①～⑧の選定理由のいずれかに該当し、留意が必要と考えられるもの。①準絶滅危惧 (NT) に準ずる、②過去の環境変化により、生息地が限定されていたり、孤立個体群がある、③人為的な環境配慮により個体群が維持されている、④外来種の影響に注意する必要がある、⑤生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている、⑥自然の回復状態をあらわしている、⑦良好な環境の指標となる、⑧タイプロカリティ(基準産地、模式産地)
神奈川	希少		生息地が狭域であるなど生息環境が脆弱な種のうち、現在は個体数をとくに減少させてはいないが、生息地での環境悪化によっては絶滅が危惧される種。
神奈川	注目		生息環境が特殊なものうち、県内における衰退はめだたないが、環境悪化が生じた際には絶滅が危惧される種
福井	要注目		評価するだけの情報が不足している種、地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群
山梨	要注目		本県において絶滅の危険性は非常に小さいが、注目される種
静岡	N-III		要注目種(部会注目種)：その他各部会で注目すべきと判断した種
滋賀	希少	NT に対応*	県内において存続基盤が脆弱な種
滋賀	その他重要		全国および近隣府県の状況から県内において注意が必要な種
京都	絶滅危惧	VU に対応*	京都府内において絶滅の危機が増大している種
京都	準絶滅	NT に対応*	京都府内において存続基盤が脆弱な種
京都	要注目		京都府内の生息・生育状況について、今後の動向を注目すべき種および情報が不足している種
奈良	絶滅寸前	CR + EN に対応*	絶滅の危機に瀕している種
奈良	絶滅危惧	VU に対応*	絶滅の危機が増大している種
奈良	希少	NT に対応*	存続基盤が脆弱な種
奈良	郷土		県民が大切にしている、もしくは大切にしたい種

※は、県レッドデータブックに記載の選定基準から判断したもの